

1 基礎編 歴史的仮名遣い

なぞって確かめよう

いろはへど 散りぬるを

いろはにおえど ちりぬるを

我が世誰ぞ 常ならむ

わがよたれぞ つねならん

有為の奥山 今日越えて

ういのおくやまきょうこえて

浅き夢見じ 酔ひもせず

あさきゆめみじ えいもせず
(「いろは歌」より)

● 上段の古文の [] の言葉は、現代とは異なる仮名遣い（歴史的仮名遣い）で書かれている。これを踏まえて下段の古文をなぞり、歴史的仮名遣いと現代の仮名遣い（現代仮名遣い）との違いを確認しなさい。

法則を押さえよう

法則 1 五十音図で考える

1 五十音図の母音と子音の組み合わせで音を考える

日本語の音は、母音（「a・i・u・e・o」）＋子音（「k・s・t・n・h・m・y・r・w」）から成っている。

2 現代では用いられない平仮名「あ・ゑ」(片仮名では「甲・エ」)を覚える

法則 2 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに改める

1 語中・語尾の「は・ひ・ふ・へ・ほ」↓「わ・い・う・え・お」

例 あはれ↓あわれ よそほひ(装ひ) ↓よそおい

例外 はは(母) ↓はは はなはだ(甚だ) ↓はなはだ など

* 助詞の「は」「へ」は「わ」「え」と発音し、仮名遣いはそのまま。

* 語頭の「は・ひ・ふ・へ・ほ」と二つ以上の語から成る語はそのまま。

例 ひと(人) ↓ひと あさひ(朝日) ↓あさひ

確認問題

- 歴史的仮名遣いで用いる仮名を書き入れ、次の一覧表を完成させなさい。
- 片仮名

ダ行 d	ザ行 z	ワ行 w	ラ行 r	ヤ行 y	マ行 m	ハ行 h	ナ行 n	タ行 t	サ行 s	カ行 k	ア行 a	ア段 a	イ段 i	ウ段 u	エ段 e	オ段 o
だ da	ざ za	wa	ら ra	や ya	ま ma	は ha	な na	た ta	さ sa	か ka	あ a					
di	zi	wi	ri	i	mi	hi	ni	ti	si	ki	i					
du	zu	u	ru	yu	mu	hu	nu	tu	su	ku	u					
で de	ぜ ze	we	れ re	え e	め me	へ he	ね ne	て te	せ se	け ke	え e					
ど do	ぞ zo	wo	ろ ro	よ yo	も mo	ほ ho	の no	と to	そ so	こ ko	お o					

ダ da	ザ za	wa	ラ ra	ya	マ ma	ハ ha	ナ na	タ ta	サ sa	カ ka	ア a	ア段 a	イ段 i	ウ段 u	エ段 e	オ段 o
			リ ri	イ i	ミ mi	ヒ hi	ニ ni	ti	si	キ ki	イ i					
		ウ u	ル ru	yu	ム mu	フ fu	ヌ nu	tu	su	ク ku	ウ u					
デ de	ゼ ze	we	レ re	エ e	メ me	ヘ he	ネ ne	テ te	セ se	ケ ke	エ e					
ド do	ゾ zo	wo	ロ ro	yo	モ mo	ホ ho	ノ no	ト to	ソ so	コ ko	オ o					

2 現代仮名遣いと表記のしかたが同じものを全て選び、記号で答えなさい。

- ア ものおもひ イ はづき(葉月)
ウ くず(葛) エ かうし(格子)

法則 2

2 「ぬ・ゑ・を」→「い・え・お」

例 ゐなか(田舎) ↓いなか

こゑ(声) ↓こえ

をのこ(男子) ↓おのこ

*助詞の「を」はそのまま。

例 これを見給へ ↓これを見給え

3 「ぢ・じ」→「ぢ・ぢず」

例 くわ・ぐわ ↓か・が

例 ぢごく(地獄) ↓じごく

くわし(菓子) ↓かし

4 母音が連続するもの

① 「ア段十う・ふ」→「オ段の長音」で読み、「オ

段十う」で表記する。

例 まうす(申す) ↓もうす

*語頭が「わ」の場合は「お」と表記する。

例 わう(王) ↓おう

② 「イ段十う・ふ」→「○ユー」と読み、「う・

ふ」を「ゆ」で表記する。

例 にうわ(柔和) ↓にゅうわ

*語頭が「い」の場合は「ゆ」と表記する。

例 いうげん(幽玄) ↓ゆうげん

例外 いふ(言ふ) ↓いいう

③ 「工段十う・ふ」→「○ヨウ」と読み、「工

段十う・ふ」を「イ段十よう」で表記する。

例 てうど(調度) ↓ちようど

*語頭が「え・ゑ」の場合は「よ」と表記する。

例 えふ(葉) ↓よう

5 「む」「ん」となる場合がある

例 いかならむ ↓いかならん

やむことなし ↓やんことなし

1 a h a r e / y o s o h o h i
a w a r e / y o s o o h i
⇒hをwに変える, またはhを取る。

2 w i n a k a
i n a k a
⇒wを取る。

3 d i g o k u
z i g o k u
⇒dをzに変える。

k u w a s i
k a s i
⇒k(またはg)とaに挟まれたuwを取る。

ローマ字で仮名を母音と子音に分けて考える。

4① m a u s u
m o u s u ……モース[mô su]と読む
⇒母音の連続 (au) はouに変える。

② n i u w a
n y u u w a ……ニューワ[nyû wa]と読む
⇒母音の連続 (iu) はyuuに変える。

③ t e u d o
t y o u d o ……チョード[tyô do]と読む
⇒母音の連続 (eu) はyouに変える。

オ ゐのしし カ ひとふで(一筆)

3 次の言葉を現代仮名遣いに改め、全て平仮名で書きなさい。

(1) とこしへ

(2) こほり

(3) をかし

(4) あはれ

(5) あふぎ

(6) ほのほ

(7) きそふ

(8) てふ

(9) やうやう

(10) いしずゑ

(11) をとめ

(12) れうり

(13) しはす

(14) かぢ

(15) にふだう

(16) さかづき

(17) うつくしうて

(18) よはひ(齢)

(19) くわんゐ

(20) なむいひける

(21) いうなり(優なり)

(22) わうらい

(23) ざふひやう

(24) くわういん

(25) くわてう

(26) まんえふしふ

(27) はうぢやうき